

化学物質等安全データシート

会社名 : 株式会社 高純度化学研究所

住 所 : 〒350-0284 埼玉県坂戸市千代田 5-1-28

電 話 : 049(284)1511 F A X : 049(284)1351

作成部門 : 品質保証部

整理番号 : GER01LAG

作 成 : 1997年 3月10日

R1 : 2012年 6月13日

1 化学物質等及び会社情報

1.1 製品情報

製品名 : Ge(OCH₃)₄ テトラメトキシゲルマニウム Germanium tetramethoxide

カタログ#	GER12LB	—
純度, サイズ	99.999%(5N), 液体, —	<99.9999%(6NG), 液体, —

1.2 会社情報 上部に記載

2 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	環境に対する有害性	物理化学的危険性
データなし	データなし	引火性液体 ; 区分 3

GHS ラベル F



絵表示

注意喚起語 警告

危険有害性情報	注意書き
引火性液体および蒸気	引火源、着火源及び熱源を避ける。 防爆型の装置、機器を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 取り扱いの際には保護眼鏡、手袋、保護マスク、保護衣他必要な保護具を着用すること。 汚染された衣類は直ちに脱ぎ、再使用時には洗濯すること。 使用時以外は容器を密閉しておくこと。 消火の際には防火服を着用し、消火方法を事前に確認すること。 皮膚についた場合、直ちに汚染された衣類をすべて取り除き、皮膚を多量の流水/シャワーで流しながら石鹸を用いてよく洗い落とす。皮膚に異常があれば医師の診断を受ける。 涼所に置き、日光を避ける。容器を密閉して換気の良いところで保管する。 内容物/容器を法規に従って廃棄すること。

国・地域情報 : ・ 労働安全衛生法 危険物 引火性の物
・ 消防法 危険物 第四類 第二石油類 非水溶性液体

その他の危険有害性 :

- 火災時に刺激性または有毒なガスを生じるおそれがある。
- その他、該当項目に参考情報を記載した。

3 組成, 成分情報

単一製品, 混合物の区分 : 単一製品

化学名 : テトラメトキシゲルマニウム(IV)

Tetramethoxygermanium(IV)

別 名 : ゲルマニウムテトラメトキシド

Germanium tetramethoxide

化学式 : Ge(OCH₃)₄

組 成 : 100 %

P R T R 法 : ・ 非該当

官報公示整理番号 : ・ 化審法 新規化学物質

C A S # : 992-91-6

RTECS# : 登録なし

T S C A : 登録なし

EINECS : 登録なし

株式会社 高純度化学研究所

4 応急措置

目に入った場合：・ 流水で眼を最低 15 分間洗浄し、眼科医の手当を受ける。

- ・ 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。

皮膚に着いた場合：・ 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹼を使ってよく落とす。

- ・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。

吸入した場合：・ 被災者を空気の新鮮な所に移し、医療処置を受けさせる。

- ・ 鼻をかませ、うがいさせる。

飲み込んだ場合：・ 直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。

5 火災時の措置

一般的注意：・ 本製品は消防法の危険物 引火性液体である。

- ・ 消火の際には必ず保護具を着用する。
- ・ 火災時に刺激性または有毒なガス(一酸化炭素 等)を生じるおそれがある。
- ・ 水と接触すると加水分解してメタノールを生じる。

消火方法：・ 速やかに容器を安全な場所に移動する。移動が不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

- ・ 消火剤に水を使用する場合は棒状注水をしてはいけない。

消火剤：・ 粉末消火剤、炭酸ガス、耐アルコール性泡消火剤、乾燥砂、水(霧状、スプレー 等)

6 漏出時の措置

一般的注意：・ 可能であれば漏れを止める。

処理作業者に対する注意：

- ・ 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
- ・ 作業の際には必ず保護具を着用し、物質由来のミストや蒸気の付着、吸入を防ぐ。
- ・ 屋内の場合処理が終わるまで十分に換気する。屋外では風上から作業する。

環境影響に対する注意：

- ・ もれ出た物質や希釈水が河川等に排出されないよう注意する。

もれ出た物の処理に対する注意：

- ・ 乾燥砂や不燃材料等で覆い、あるいは吸収させてできるだけ集めて密閉できる空容器に回収する。
-

7 取り扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

* 一般的注意：

- ・ 本製品は湿った空気や水により分解するので、不活性ガス雰囲気中で取り扱う。品質保持のため原則として密閉ステンレス配管中で取り扱い、容器や配管内を大気に接触させない。

* 作業者の暴露防止：

- ・ 適切な身体保護具を選んで着用し、排気装置を利用して作業者に物質が触れないように、また物質の蒸気、粉塵等を吸入しないようにする。

* 火災や爆発の防止：

- ・ 火気、加熱、摩擦、衝撃を避け、静電気、火花等の着火源を生じないようにする。

保管上の注意

* 一般的注意：・ 不活性ガス下で容器を密閉し、乾燥した冷暗所に保管する。

- ・ 直射日光を避け、高温物を近付けない。
- ・ 電気器具は防爆構造とし、裸電球等を使用しない。

* 混合貯蔵：・ 類を異にする危険物と同一の場所に貯蔵しない。

8 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度：・ 作業環境評価基準(2009) 規定なし。
- 許容濃度：・ 設定されていない。
- 設備対策：・ 製品又は製品由来の蒸気等に暴露される可能性のある場合は局所排気設備等の排気設備を使用すること。
- ・ 大気中で不安定なので不活性ガス雰囲気中で密閉された装置/ 機器中で取り扱う。
- 保護具：・ 防毒マスク(有機ガス用), ゴーグル型保護眼鏡, 保護面(防災面), 保護手袋(有機溶剤用), 保護服, 保護長靴

9 物理的及び化学的性質

注) 指数以外の右肩付数は温度()

- 外 観 等：・ 無色液体
- 化 学 式： Ge(OCH₃)₄ 式 量： 196.7
- 融 点： -18
- 沸 点： 148-150 /96.3kPa
- 密 度： 1.325²⁵ g/cm³
- 溶 解 性
- * 水：・ 分解
- * 可溶：・ 有機溶媒と混和する。

可燃性：・ 可燃性である。

酸化性：・ データなし。

10 安定性及び反応性

- 安定性：・ 不活性ガス下に容器を密封して、室温保存で安定である。
- ・ 大気中の湿気, 水により分解する。

反応性：

- * 混触危険：・ 強酸化剤, 強酸類, ハロゲン類
- * 共存を避けるべきもの：・ 熱, 湿気, 水
- * 危険・有害な分解生成物：・ 一酸化炭素, 二酸化炭素

11 有害性情報

- 急性毒性：・ GHS 判定 データなし。
- 皮膚腐食性/ 刺激性：・ GHS 判定 データなし。
- 眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性：・ GHS 判定 データなし。
- 呼吸器感作性/ 皮膚感作性：・ GHS 判定 データなし。
- 生殖細胞変異原性：・ GHS 判定 データなし。
- ・ 変異原性が認められた既存化学物質等(平成 23 年 11 月 29 日現在)に該当しない。
- 発がん性：・ GHS 判定 データなし。
- ・ 日本産業衛生学会(2011), IARC(2011), NTP(2011)及び ACGIH(2008)に記載なし。
- 生殖毒性：・ GHS 判定 データなし。
- 特定標的臓器毒性
- 単回曝露：・ GHS 判定 データなし。
- 反復曝露：・ GHS 判定 データなし。
- 吸引性呼吸器有害性：・ GHS 判定 データなし。

12 環境影響情報

- 水生環境急性/ 慢性有害性：・ GHS 判定 データなし。
- オゾン層への有害性：・ GHS 判定 データなし。
- ・ フロン, ハロンでない。

- 魚毒性：・ 現在のところ知見なし。
- 分解性：・ 水により分解し、酸化ゲルマニウム水和物とメタノールを生じる。
 （参考：メタノール 化審法既存化学物質安全性点検データ 良分解性）
- 蓄積性：・ 現在のところ知見なし。
 （参考）・ Ge 生物学的半減期 1 day ・ 吸収率 経口 = 0.01, 経気道 = 0.26
- 土壤中の移動性：・ データなし。
- 海洋汚染：・ 海洋汚染物質に該当しない。

1 3 廃棄上の注意

- 廃棄方法：・ 専門の業者に委託する。
 ・ スクラバーとバーナー付きの焼却炉に噴霧して焼却する。
- 特別管理産業廃棄物：・ 廃油。

1 4 輸送上の注意

国連分類：クラス 3(引火性液体；PGⅢ) 国連番号：1992
 輸出統計：2905.11-000 輸入統計：2905.11-000

陸上輸送：

- ・ 道路法： 危険物 水底トンネル等の通行制限物質 消防法危険物
- ・ 消防法： 危険物 第四類 引火性液体 第二石油類非水溶性液体
危険等級：Ⅲ 指定数量：1000L
- ・ 毒物及び劇物取締法： 普通物（毒物や劇物に該当しない）
- ・ 高压ガス保安法： 該当せず。

海上輸送：

- ・ 船舶安全法： 危険物 引火性液体類 品名：その他の引火性液体(毒性のもの)
副次危険性等級：6.1 容器等級：Ⅲ
積載場所 旅客船以外及び旅客が規定以下の旅客船 甲板上／下 ; 旅客が規定数以上の旅客船 甲板上／下
- ・ 港則法： 危険物 その他の危険物 引火性液体類

航空輸送：

- ・ 航空法： 爆発物等輸送許容物件 引火性液体類 品名：その他の引火性液体(毒性のもの)
ラベル：G, M 等級：3

1 5 適用法令

◆規制条項

- ・ 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律： ◆新規化学物質
- ・ 労働基準法： ◇労働安全衛生法に重複する内容は省く。
- ・ 労働安全衛生法： ◆危険物(引火性の物)
- ・ 毒物及び劇物取締法： ◇普通物(毒物や劇物に該当しない)
- ・ 消防法： ◆危険物 第四類 引火性液体 第二石油類
- ・ 化学物質管理促進法(P R T R 法)： ◇非該当
- ・ 道路法： ◆危険物 通行制限物質 消防法危険物
- ・ 船舶安全法： ◆危険物 引火性液体
- ・ 港則法： ◇非危険物
- ・ 航空法： ◆爆発物等輸送許容物件 引火性液体
- ・ 外国為替及び外国貿易管理法
 - * 輸入貿易管理令： ◇自由化品目
 - * 輸出貿易管理令： キャッチオール規制等 16 項該当
- ・ 環境基本法： 環境基準
 - ◆大気(浮遊粒子状物質) ◆水質(浮遊物質、COD, BOD) 土壌(一)
- ・ 大気汚染防止法： 粉塵、ばい煙、特定物質(一酸化炭素)

- ・ 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律： ◇特定物質でない。
- ・ 悪臭防止法： ◇悪臭物質に該当しない。
- ・ 下水道法： ◆水質基準(浮遊物質)
- ・ 水質汚濁防止法： ◆排水基準(浮遊物質, COD, BOD)
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律： ◆特別管理産業廃棄物(廃油)
- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律： ◇海洋汚染物質に該当しない。

16 その他

参考文献：

- 1) 後藤 稠ら，産業中毒便覧；医歯薬出版株式会社
- 2) 山根 登；微量元素；産業図書
- 3) Natalia Y.Turova et.al. ; The Chemistry of Metal Alkoxides

注意事項：・ 本情報は製品に対しての品質保証や安全保証をするものでなく、製品の危険、有害性等に関する情報を提供するものです。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであつて、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策をお願いいたします。